



TOHOKU
UNIVERSITY

平 成 3 1 年 度

東北大学大学院生命科学研究科

博士課程前期2年の課程 第Ⅰ期・第Ⅱ期 学生募集要項

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
帰 国 学 生 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜

東北大学大学院生命科学研究科

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号

TEL (022) 217-5706

FAX (022) 217-5704

<https://www.lifesci.tohoku.ac.jp/>

受 験 生 の 皆 さ ん へ

(1) アドミッション・ポリシー

東北大学大学院生命科学研究科は、先端的知識と技術を駆使して生命科学の新領域を開拓できる指導的研究者・技術者の育成を目指しています。それと共に、生命科学の基盤に裏打ちされた知識と技術を応用展開できる人材の育成、生命倫理や環境倫理等の素養を持つ人材の育成にも力をいれています。この教育を行うにあたって本研究科では、生命科学を専攻しようとする強い勉学意欲と、その課程を修めるに必要な秀でた能力とを兼備した学生**106名**を平成31年度入学者として募集します。

(2) 選抜方針

- 1 生命科学関連の学部（理学部生物・化学系、農学部、工学部生命科学系、薬学部、医学部など）卒業生の皆さんには、生物学又は化学の特定分野（例えば、有機化学、分子生物学、生態学など）についての深い知識を求めます。
- 2 数理科学、物理学、工学など、非生命科学系の学部や大学院で学んだ学生の皆さんには、異分野の学識を生かして生命科学を専攻できるような入学者選抜法を用意しています。
- 3 海外の大学を卒業した学生の方や、すでに社会人として生命科学関連の業務に従事した経験のある方にも広く門戸を開き、別枠での入学者選抜法を用意しています。
- 4 学問世界の共通語である英語能力については、十分な基礎学力を求めます。

目 次

1	専攻及び募集人員	1
2	出願資格	2
3	出願手続	4
4	選考方法等	
	第Ⅰ期	6
	第Ⅱ期	8
5	結果の発表	9
6	入学の時期	9
7	入学時に必要な経費	9
8	長期履修学生制度	9
9	個人情報の取扱い	10
10	その他	10
11	学生募集する分野名・構成員及び研究内容一覧	
	① 脳生命統御科学専攻	11
	② 生態発生適応科学専攻	13
	③ 分子化学生物学専攻	15
12	キャンパスマップ	

添付書類

この要項には、第Ⅰ期入学試験及び第Ⅱ期入学試験の出願に必要な次の書類が添付されています。

- 1 入学願書
- 2 志望理由書
- 3 写真票・受験票
- 4 領収書・領収書（控）
- 5 連絡受信先シール

1 専攻及び募集人員

専攻	講座	分野	募集人員	
			第Ⅰ期	第Ⅱ期
脳生命統御科学	神経ネットワーク	神経行動、脳機能遺伝、脳機能発達、脳神経システム	100名程度	各分野若干名
	細胞ネットワーク	膜輸送機構解析、発生ダイナミクス、細胞小器官疾患学、超回路脳機能		
	分化制御ネットワーク	分化再生制御、腫瘍生物学、神経機能制御		
	(協力分野)	神経発生生物学、 <u>分子腫瘍学</u> 、 <u>遺伝子導入</u>		
生態発生適応科学	個体ダイナミクス	植物発生、組織形成、環境応答、動物発生、植物細胞壁(*)		
	生態ダイナミクス	水圏生態、機能生態、進化生物、統合生態		
	多様性ダイナミクス	植物進化多様性、生物多様性保全、海洋生物多様性		
	生態複合ダイナミクス	生態系機能		
	(協力分野)	<u>生命情報システム科学</u>		
分子化学生物学	ケミカルバイオロジー	分子情報化学、生命構造化学、活性分子動態(*)、分子細胞生物、応用生命分子解析		
	分子ネットワーク	微生物遺伝、微生物共生、植物分子育種、分子遺伝生理		
	階層的構造ダイナミクス	生体分子ダイナミクス、生体分子機能制御、生体分子構造		
	ゲノム情報学	オミックス・情報学		
	微生物進化機能開発	微生物進化機能開発		
	(協力分野)	天然ケミカルバイオロジー、 <u>分子反応化学</u> 、 <u>レドックス制御</u> 、 <u>細胞機能</u>		
計			106名	

備考 下線の分野は、協力教員が担当する分野を示します。

*生態発生適応科学専攻の植物細胞壁分野及び分子化学生物学専攻の活性分子動態分野は、平成31年度入学の学生募集は実施しません。

※募集人員には、自己推薦入試の募集人員を含みます。

※第Ⅱ期の募集人員について

第Ⅰ期の合格状況により募集を行わない分野もあります。詳細は9月末までに本研究科ウェブサイトでお知らせします。

2 出 願 資 格

博士課程前期2年の課程に出願できる者は、下記の(1)～(11)のいずれかに該当する者とします。ただし、特別選抜に出願できる者は、次に該当する者とします。

- ・ 社会人特別選抜は、出願時に官公庁、学校、企業等に技術者・教員・研究者等として勤務し、入学後もその身分を有する者で、下記の(1)～(11)のいずれかに該当する者とします。
- ・ 帰国学生特別選抜は、外国の大学を卒業(平成31年3月までに卒業見込みの者を含む。)し、帰国後2年以内の者(平成31年3月までに帰国予定の者を含む。)で、日本国籍を有し、下記の(1)～(11)のいずれかに該当する者とします。
- ・ 外国人留学生特別選抜は、日本国籍を有しない者で、下記の(1)～(11)のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成31年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものであり、その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 平成31年3月末までに大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程(当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものであり、その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を修了した者で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本研究科が認めたもの
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に飛び入学した者であって、本研究科においてその教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (11) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月末日までに22歳に達するもの

注 1) すべての出願者は、指導を受けようとする教員に事前に問い合わせてください。

2) 出願資格の(6)により出願する者は、第Ⅰ期は平成30年5月7日(月)、第Ⅱ期は平成30年9月3日(月)までに教務係に問い合わせてください。

3) 出願資格の(9)、(10)及び(11)により出願する者は、以下に指示する事前審査を受け、その結果により出願してください。

4) 出願資格の(9)の「大学に3年以上在学した者」には、大学卒業見込みの者及び既卒業

者は、該当しません。

・ **出願資格（９）「大学３年以上に在学している者等」の出願上の留意事項**

- （１）この資格により出願できる者は、出身学部又は学科における成績が上位５％以内であることを目安とし、大学院修学に必要な専門科目の履修又は相当する科目をすべて履修した者で、かつ本研究科の行う次の事前審査を受け、その審査に合格した者とします。

次の申請書類等を、生命科学研究科教務係あて郵送（書留）又は持参してください。

- a 事前審査申請書（申請用紙は、生命科学研究科教務係に請求してください。）
- b 在籍大学における３年次まで又は外国の学校教育における高等教育機関での成績証明書及び在学証明書又は修了証明書
- c 大学３年次における履修科目又は外国の学校教育における高等教育機関での履修科目（履修科目表の写し等。様式任意）
- d 審査結果通知の返信用封筒（定形、志願者住所・氏名記入、242円分の切手を貼ったもの）

- （２）この資格により最終的に合格し、本研究科に入学しようとする者は、すみやかに在籍大学等に合格通知書を提示し、平成３１年３月末日をもって退学することを届け出るとともに、在籍大学等が発行する退学証明書を入学手続き時に提出してください。

・ **出願資格（１０）「学校教育法第102条第2項の規程により他の大学の大学院へ飛び入学した者」の出願上の留意事項**

- （１）この資格により出願できる者は、他の大学の大学院へ飛び入学した者のうち、在学中に新たに本研究科を受験する者で、本研究科の行う次の事前審査を受け、その審査に合格した者とします。

次の申請書類等を、生命科学研究科教務係あて郵送（書留）又は持参してください。

- a 事前審査申請書（申請用紙は、生命科学研究科教務係に請求してください。）
- b 在籍した大学の成績証明書
- c 在籍している大学院の履修科目（履修科目表の写し等。様式任意）及び在学証明書
- d 審査結果通知の返信用封筒（定形、志願者住所・氏名記入、242円分の切手を貼ったもの）

- （２）この資格により最終的に合格し、本研究科に入学しようとする者は、すみやかに在籍大学院に合格通知書を提示し、平成３１年３月末日をもって退学することを届け出るとともに、在籍大学院が発行する退学証明書を入学手続き時に提出してください。

・ **出願資格（１１）「大学を卒業していない者」の出願上の留意事項**

この資格により出願できる者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生及びその他の教育施設の修了者等で学士の学位を有していない者のうち、本研究科において入学希望者個人の能力の個別審査（事前審査）により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められる者で、その審査に合格した者とします。

次の申請書類等を、生命科学研究科教務係あて郵送（書留）又は持参してください。

- a 事前審査申請書（申請用紙は、生命科学研究科教務係に請求してください。）
- b 成績証明書（最終出身学校の長が作成したもの）
- c その他審査に参考となるもの（学術論文又はそれに相当するもの等）
- d 審査結果通知の返信用封筒（定形、志願者住所・氏名記入、242円分の切手を貼ったもの）

- 上記申請書類等提出期限は、第Ⅰ期は平成３０年５月２８日（月）、第Ⅱ期は平成３０年９月１４日（金）（必着）です。
- 審査結果は、第Ⅰ期は平成３０年６月８日（金）、第Ⅱ期は平成３０年９月２６日（水）頃までに特定記録郵便にて送付します。

3 出 願 手 続

(1) 出願書類等

本研究科では、第2及び第3志望への出願を奨励しています。志望分野を選ぶ際には、第1志望分野だけでなく、視野を広げて、第2及び第3の志望分野を是非検討してください。

また、収容可能人員等の理由で分野の受入れが制限される場合がありますので、第2及び第3の志望分野を含めた志望分野の教員に、必ず出願前にコンタクト（教員と面談等）を取り、研究内容等の説明を受けてください。なお、全ての志望分野に連絡した上で願書を提出してください。

区分	提出書類等	摘 要
1	入 学 願 書	指導予定教員にコンタクト済であることを、入学願書の専攻名欄（□ コンタクト済）に必ずチェックしてください。 また、コンタクトをとった教員の氏名を必ず記入してください。
2	受験票・写真票	2枚とも切り離さないで、受験番号欄を除きすべての欄を記入してください。
3	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成したもの。ただし、大学以外の成績証明書については、所属機関の長が作成したもの。
4	TOEFL®TEST 又は TOEIC®TEST のスコア (注1) ※IELTSスコア	スコアの事前提出は任意ですが、本研究科では、全受験予定者のTOEFL又はTOEICの事前の受験と出願時のスコアの提出を奨励します。（スコアの利用法については、4 選考方法等に記載します。） <u>なお、外国人留学生特別選抜による受験生で、母国語を英語としない方は、合否判定に必要としますので、TOEFL又はTOEICのスコアを必ず提出してください。</u> ※ 外国人留学生特別選抜による受験生で、母国語を英語とする方、及び帰国学生特別選抜により受験する方は、IELTSスコアも参考として受け付けます。 対象となるスコア TOEFL iBT、TOEFL PBT、TOEICのいずれかの試験スコアを採用します。団体受験用のTOEFL ITP 及びTOEIC IP テストは認めません。 ※ IELTSを提出する場合は、IELTSのアカデミック・モジュールのみ受け付けます。 スコア原本の提出 TOEFL はOfficial Score Report(公式スコア票) TOEIC はOfficial Score Certificate (公式認定証) ※ IELTSはTest Report Form (公式の成績証明書) TOEFLについては、出願書類受付期間最終日（必着）までに東北大学大学院生命科学研究科に到着するようETSに送付手続きをとってください。TOEFL のOfficial Score Reportを送付依頼する際のDIコードはB430（東北大学大学院生命科学研究科）です。なお、ETSの送付手続きから到着まで、2ヶ月程度の時間がかかりますので注意してください。 TOEICについては、スコアの原本を出願時に提出してください。なお、願書提出時にスコアが手元に届いていない場合、願書にその旨申告した者に限り、試験当日、スコアを提出することを認めます。それ以外でのスコアの追加又は差替えは認めません。 また、複数の異なる試験のスコアを提出することもできます。なお、入学試験実施日初日からさかのぼって過去2年以内に受験したものを有効とします。

		※IELTSの提出を希望する場合も、出願時に提出してください。 (注1) TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITPおよびTOEICはエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
5	卒業（見込）証明書等	最終学歴により、次の該当する証明書を提出してください。 ①大学学部卒業（見込）者は、卒業（見込）証明書（ただし、東北大学卒業見込者は必要ありません。） ②独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位授与（見込）者は、学士の学位授与（申請受理）証明書又は短期大学長又は高等専門学校長の学位授与申請（予定）証明書
6	志望理由書	志望理由書は、氏名・志望研究分野名（11ページ～の分野名）及び志望理由を記載してください。 なお、第2及び第3志望を含む場合は、1枚の志望理由書に記載することとし、第1志望の理由の他に第2及び第3志望への出願をも念頭において記載しても差し支えありません。 また、第2及び第3志望については、第1志望分野と異なる専攻の分野でも差し支えありません。
7	検定料	30,000円（郵便局の発行する郵便普通為替証書とし、指定受取人欄等には何も記入しないでください。） ただし、国費外国人留学生は納付不要です。 また、東日本大震災及び熊本地震により被災した方を対象に入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は、巻末の「東日本大震災により被災した東北大学入学志願者等の平成30年度における入学検定料の免除について」及び「平成28年度熊本地震により被災した東北大学入学志願者等の平成30年度における入学検定料の免除について」を参照してください。
8	検定料領収書等	2枚とも切り離さないで、氏名を記入してください。ただし、国費外国人留学生及び入学検定料免除申請者は提出不要です。
9	受験許可書	在職のまま入学する者のみ提出してください。所属長が作成したものとし、様式任意。
10	受験票送付用封筒	郵便番号・住所及び氏名を記入し、242円分の切手を貼った長形3号封筒（12×23cm程度、定形最大）
11	外国の学校の卒業（見込）証明書	外国籍、又は日本国籍で外国の学校を卒業（見込）の志願者は提出してください。なお、合格した場合は、入学時までに卒業証書の原本を提示願います。
12	研究歴証明書	外国において大学教育修了までの学校教育の課程が、16年に満たない国で大学を卒業した外国籍の志願者は提出してください。
13	住民票	日本に在留する外国人（在留期間が90日を超える者）のみ提出してください。（在留資格及び在留カード等の番号が記載されているもので、個人番号は記載省略のもの。）
14	連絡受信先シール	郵便番号、住所及び氏名について、8箇所すべて記載してください。

- (2) 出願しようとする者は、上記(1)の出願書類等を、次の(3)の出願先に提出してください。
- なお、郵送する場合は、必ず書留とし、封筒の表に「大学院入学願書（前期2年の課程）在中」と朱書きしてください。

(3) 出願書類受付期間

第Ⅰ期 平成30年 6月18日(月) から 7月20日(金)〈必着〉

第Ⅱ期 平成30年10月15日(月) から10月26日(金)〈必着〉

※窓口における受付時間は、第Ⅰ期、第Ⅱ期とも、平日の午前10時から午後4時まで(ただし、正午から午後1時を除く)とします。

出 願 先 : 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号
東北大学大学院生命科学研究科教務係
Tel 022-217-5706

- 注 ① 出願書類に不備がある場合には、受理できません。
② 願書受理後は、出願の取下げ、出願事項の変更及び検定料の返付はできません。
③ 受験票は、受験に関する指示等を記載した受験上の注意事項及び検定料領収書とともに、出願書類受付期間終了後に特定記録郵便で送付します。

4 選考方法等

第Ⅰ期

(1) 一般選抜

選考は、出願書類等の審査並びに筆記試験(英語(TOEFL ITP)及び専門科目)により行います。

1) 試験日時・科目及び試験場所

期 日	時 間	試験科目	試験場所	備 考
8月2日 (木)	10:00~12:00	英 語 (TOEFL ITP)	東北大学大学院 生命科学研究科 (片平キャンパス)	辞書(電子辞書含む。)等一切 の持込みを認めません。
	13:30~15:00	専門科目		教科書等、電卓(計算機能の ある電話機含む。)等一切の 持込みを認めません。

2) 専門科目

次の専門科目の中から1科目を選択してください。志望分野にかかわらず、どの科目でも選択可能です。また、2科目以上の科目を解答しても構いません。解答した科目の中、高得点の1科目の成績のみを評価の対象とします。

区分	専 門 科 目	出 題 項 目 (この項目に沿って出題されます。)
1	生物物理学	平衡論、反応速度論、基礎物理学、光学、熱・統計力学
2	有機化学	有機化合物の構造、反応、合成
3	生化学	生体分子の構造と性質、タンパク質の構造と機能、生体膜、酵素触媒、エネルギー代謝、その他の代謝
4	分子・細胞生物学	遺伝子の複製・発現調節、遺伝子工学、細胞分裂・周期、細胞の構造と機能、シグナル伝達

5	動物発生・生理学	生殖細胞と受精、からだの形づくり、細胞分化と組織維持機構、免疫
6	植物発生・生理学	成長・分化、細胞壁、植物ホルモン、環境応答
7	脳・神経科学	神経情報の伝達と統合、感覚の受容と情報処理、神経系の発生と可塑性、高次脳機能と認知科学
8	進化生物学	集団内・集団間の遺伝的変異、集団内の遺伝子頻度変化、自然選択と遺伝的浮動、自然選択による適応進化、分子系統、種分化と交雑
9	生態学	生態系、群集、個体群動態、生物間相互作用、物質生産、物質循環、資源利用
10	微生物学	微生物の構造・分類・遺伝・ゲノム・代謝・生態・利用

(2) 社会人・帰国学生及び外国人留学生特別選抜

選考は、出願書類等の審査並びに筆記試験（英語（TOEFL ITP）…「社会人特別選抜出願者対象」、小論文…「帰国学生・外国人留学生特別選抜出願者対象」）及び口頭試問により行います。
なお、外国人留学生特別選抜志願者で、母国語を英語としない受験生については、TOEFL 又は TOEIC のスコアも合否判定に用います。

1) 試験日時・科目・対象者及び試験場所

期 日	時 間	試験科目	試 験 対 象 者	試験場所	備 考
8 月 2 日 (木)	10:00～12:00	英 語 (TOEFL ITP)	社会人特別選抜	東北大学大学院 生命科学研究科 (片平キャンパス)	辞書（電子辞書含む。）等一切の持込みを認めません。
		小 論 文	帰国学生特別選抜 外国人留学生特別選抜		
	13:30～	口頭試問	社会人特別選抜 帰国学生特別選抜 外国人留学生特別選抜		

2) 小 論 文

論理性や文章表現力を評価するために特定の課題について論述文を課します。
 日本語又は英語いずれかで書いてもらいます。

3) 口頭試問

パソコン及び配付物等を使って出願時までの学業（業務）内容と、本研究科に入学後、どういったことを学び研究したいか、について 10 分間の発表（日本語又は英語）を行ってもらいます。詳細は受験者に連絡します。

(3) 英語（TOEFL ITP®Test）について（一般・社会人特別選抜共通事項）

TOEFL又はTOEICのスコアを提出した者も、入試において英語試験（TOEFL ITP）を受験する必要があります。

TOEFL 又はTOEIC のスコアを事前提出した受験者については、入試における英語（TOEFL ITP）の得点と提出されたTOEFL 又はTOEIC のスコアを比較し、いずれか高い方の得点を合否判定に利用します。

(得点の換算)

提出されたTOEICのスコアは一般的な方法を用いてTOEFLに換算し、英語の得点を算出します。
複数のスコアが提出された場合には、換算の結果、得点の最も高いものを採用します。

第Ⅱ期

(1) 一般選抜

選考は、出願書類等の審査並びに筆記試験（英語（TOEFL ITP））及び口頭試問により行います。

1) 試験日時・科目及び試験場所

期 日	時 間	試験科目	試験場所	備 考
1 1 月 1 2 日 (月)	14:00～16:00	英 語 (TOEFL ITP)	東北大学大学院 生命科学研究科 (片平キャンパス)	辞書(電子辞書含む。)等一切の持込みを認めません。
1 1 月 1 3 日 (火)	9:00～	口頭試問		

2) 口頭試問

パソコン及び配付物等を使って出願時までの学業（業務）内容と、本研究科に入学後、どういったことを学び研究したいか、について10分間の発表を行ってもらいます。詳細は受験者に連絡します。

(2) 社会人・帰国学生及び外国人留学生特別選抜

選考は、出願書類等の審査並びに筆記試験（英語（TOEFL ITP）…「社会人特別選抜出願者対象」、小論文…「帰国学生・外国人留学生特別選抜出願者対象」）及び口頭試問により行います。
なお、外国人留学生特別選抜志願者で、母国語を英語としない受験生については、TOEFL 又は TOEICのスコアも合否判定に用います。

1) 試験日時・科目・対象者及び試験場所

期 日	時 間	試験科目	試 験 対 象 者	試 験 場 所	備 考
1 1 月 1 2 日 (月)	14:00～16:00	英 語 (TOEFL ITP)	社会人特別選抜	東北大学大学院 生命科学研究科 (片平キャンパス)	辞書(電子辞書含む。)等一切の持込みを認めません。
		小 論 文	帰国学生特別選抜 外国人留学生特別選抜		
1 1 月 1 3 日 (火)	9:00～	口頭試問	社会人特別選抜 帰国学生特別選抜 外国人留学生特別選抜		

2) 小 論 文

論理性や文章表現力を評価するために特定の課題について論述文を課します。
日本語又は英語いずれかで書いてもらいます。

3) 口頭試問

パソコン及び配付物等を使って出願時までの学業（業務）内容と、本研究科に入学後、どういったことを学び研究したいか、について10分間の発表（日本語又は英語）を行ってもらいます。詳細は受験者に連絡します。

(3) 英語 (TOEFL ITP®Test) について (一般・社会人特別選抜共通事項)

TOEFL 又はTOEIC のスコアを提出した者も、入試において英語試験 (TOEFL ITP) を受験する必要があります。

TOEFL 又はTOEIC のスコアを事前提出した受験者については、入試における英語 (TOEFL ITP) の得点と提出されたTOEFL 又はTOEIC のスコアを比較し、いずれか高い方の得点を合否判定に利用します。

(得点の換算)

提出されたTOEIC のスコアは一般的な方法を用いてTOEFLに換算し、英語の得点を算出します。複数のスコアが提出された場合には、換算の結果、得点の最も高いものを採用します。

5 結果の発表

合格者の発表は、次のとおり生命科学研究科教務用掲示板 (片平キャンパス：仙台市青葉区片平二丁目1番1号) に掲示するとともに、生命科学研究科ウェブサイトに掲載します。また、可否結果を、同日中に本人あて特定記録郵便にて送付します。なお、可否の問い合わせには、一切応じません。

第Ⅰ期 平成30年 8月10日 (金) 午前9時30分頃

第Ⅱ期 平成30年11月22日 (木) 午前9時30分頃

生命科学研究科ウェブサイト <https://www.lifesci.tohoku.ac.jp/>

6 入学の時期

入学の時期は、平成31年4月1日とします。

7 入学時に必要な経費

入学時に必要な経費は、次のとおりです。

- ① 入学料 282,000円 (予定額)
- ② 授業料 (前期分) 267,900円 (予定額)

注1 上記の納付金額は予定額であり、入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用となります。

注2 入学料及び授業料の納付に関しては、2月中旬に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。免除、徴収猶予等に関しては、東北大学教育・学生支援部学生支援課経済支援係 (川内北キャンパス教育・学生総合支援センター1階④窓口、電話：022-795-7816、受付時間 8：30～17：15) で行っております。詳しくは、東北大学のウェブサイトをご覧ください。

東北大学ウェブサイト (入学料・授業料免除等) : <http://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/>

8 長期履修学生制度

職業を有している等 (① 企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者 ② 出産・育児・介護等を行う必要がある者 ③ その他本研究科において適当と認める者) の事情により、博士課程前期2年の課程の標準修業年限である2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修士 (生命科学) の学位を取得することを希望する場合は、合格者あてに追って通知する入学手続に関する通知に基づいて、入学手続時に所定の願い出を行うことにより、長期履修学生として許可される制度があります。ただし、4年を超えて在学することはできませんが、在学途中に、許可された当該在学期間について短縮を願い出することもできます。

なお、基本的には、通常のカリキュラム・授業時間割を使用し、教育・研究指導が行われます。長期履修学生に係る授業料の年額は、一般学生の授業料年額に標準修業年限の年数 (2年) を乗じて得た額を、長期履修学生として許可された在学期間の年数で除した額となります。

参考まで平成30年度入学者の授業料年額は次のとおりです。また、授業料改定が行われる場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(例：平成30年度授業料年額を参考)

標準修業年限2年の一般学生の授業料年額	535,800円
許可された在学期間が3年の場合の授業料年額	357,200円
許可された在学期間が4年の場合の授業料年額	267,900円

9 個人情報の取扱い

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学者の選抜、入学手続、追跡調査、入学後の学生支援関係（奨学、授業料免除及び健康管理等）及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- (3) 本研究科に出願した方は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

10 その他

- (1) 出願書類及び検定料は、返付できません。
- (2) 受験及び修学上の配慮を必要とする方のための相談を行っていますので、該当者は、第Ⅰ期は平成30年5月7日（月）、第Ⅱ期は平成30年9月3日（月）までに生命科学研究科教務係に相談をしてください。
- (3) 学生募集事務に関する照会先は、次のとおりです。

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号 東北大学大学院生命科学研究科教務係 TEL 022-217-5706 FAX 022-217-5704 E-mail lif-kyom@grp.tohoku.ac.jp

- (4) 郵送で出願書類を請求する場合は、郵便番号、住所及び氏名を記入し、205円分の切手を貼った角形2号の返信用封筒を同封し、上記（3）の照会先に請求してください。
- (5) 生命科学研究科の入学試験等に関するウェブサイトを次のとおり開設していますので参照してください。

<https://www.lifesci.tohoku.ac.jp/>

平成30年 4月

東北大学大学院生命科学研究科

11 学生募集する分野名・構成員及び研究内容一覧

① 脳生命統御科学専攻

*印の教員は、平成32年3月退職予定です。

**印の教員は、平成33年3月退職予定です。

***印の教員は、平成34年3月退職予定です。

講 座	分野及び教員	研 究 内 容
神経 ネットワーク	神経行動 教 授 谷本 拓 准教授 山方 恒宏	ショウジョウバエの遺伝学的手法を用いて、味、色、匂いなどの感覚刺激が記憶・学習される際の細胞、回路メカニズムを報酬・罰の脳内機構を中心に理解する。これと並行して、より「祖先的」な神経系を持つ動物の行動制御に関する研究もすすめている。
	脳機能遺伝 (兼)教授 東谷 篤志 准教授 小金澤雅之	多様な行動パターンを生み出す脳の設計原理を明らかにするために、各種本能行動と学習に基づく行動を、分子・細胞レベルから、神経回路網、個体レベルにわたって解析する。
	脳機能発達 教 授 安部健太郎	内因的な要因、および社会相互作用や環境、生活習慣などの外因的な要因により脳・神経系の機能が確立する機構や、障害される機構を明らかにする。鳴禽類やげっ歯類個体や、各種培養細胞を用い、分子・細胞生物学的手法、行動学的手法、in vivo ライブイメージング法などを用いる。
	脳神経システム 教 授 筒井健一郎	脳の感覚系、報酬系、学習・記憶系、実行系などの機能について、局所および大規模の神経回路ネットワークの構成と機能に基づいて理解することを目指している。そのために、霊長類、げっ歯類を用いた動物実験において、電気生理学、分子生物学、脳機能画像、情報科学などの手法を駆使して研究を進めている。また、うつ病をはじめとした精神疾患の病態理解と新たな治療法の開発を目指した基礎研究も行っている。
細胞 ネットワーク	膜輸送機構解析 教 授 福田 光則 助 教 藤田 尚信 (兼)准教授 田嶋 玄一	多細胞生物体に見られる様々な生命現象（神経伝達物質放出、ホルモン分泌、メラニン色素沈着、オートファジーなど）を膜輸送という観点から捉え、膜輸送の構成分子を同定することによりその分子機構を解明する。
	発生ダイナミクス 教 授 杉本亜砂子 助 教 春田 奈美 (兼)助教 丹羽 伸介	動物の発生過程における細胞動態の制御メカニズムを、タンパク質の発現や局在の時間的空間的变化に着目して解明し、ゲノムに書き込まれた個体発生プログラムの理解を目指す。線虫胚をモデル系として、生体内イメージング・分子遺伝学・生化学・ゲノム機能解析などの手法を統合的に用いる。
	細胞小器官疾患学 教 授 田口 友彦	細胞小器官は連携して細胞の機能発現に関与しており、その連携の破綻は個体レベルで様々な疾患の要因となる。本研究室では、生化学・細胞生物学的手法により、細胞小器官を構成する因子（タンパク質・脂質）を同定し、細胞小器官の機能および連携を制御する分子メカニズムを明らかにする。研究成果は、炎症性疾患やがんなどの病因の理解と治療手段の開発に資する。

細胞 ネットワーク	超回路脳機能 教 授 松井 広 講 師 石塚 徹 (兼)助教 常松 友美	神経・グリア・代謝回路間を超える信号が、脳活動に整合性をもたらす。そもそも細胞の担う「情報」とは何か。細胞活動の光操作技術を活かして、異種細胞間の情報交換過程を解明し、脳内情報処理を理解する。
分化制御 ネットワーク	分化再生制御 教 授 松居 靖久 助 教 林 陽平 助 教 太田 博充	生殖細胞が、次世代個体を作り出す個体発生全能性を獲得する分子機構を、代謝、転写、エピゲノム制御から多角的に解明する。また生殖細胞と多能性幹細胞および癌細胞との関連を解析し、相互に再プログラム化する機構に迫る。
	腫瘍生物学 教 授 千葉奈津子 助 教 吉野 優樹 助 教 大塚 慧	がん遺伝子、がん抑制遺伝子の遺伝子変異の蓄積が、がんを引き起こす。がん関連分子の細胞分裂の制御機構やDNA損傷応答機構を解明する。さらに、その機能破綻による発がん機構を解明し、がんの治療法開発への貢献をめざす。
	神経機能制御 教 授 小椋 利彦 助 教 久保 純 助 教 松本 健	脊椎動物の形態形成を支配する最も根本的な原理を力学刺激の観点から追及する。力を使って形態形成や発生を操作し、心臓発生、代謝恒常性維持等を研究する。また、新しいシグナルを介した代謝制御について核内受容体を中心に解析し、exercise pill 開発のための基礎研究を行う。
(協力分野)	神経発生生物学 教 授 大隅 典子	脳・神経系の発生と進化のメカニズムを遺伝子・分子・細胞のレベルで追求する。とくに加齢・栄養・薬物等の環境因子によるエピジェネティックな修飾について着目する。研究成果は自閉症等の神経発達障害の病因・病態の理解と治療・介入手段の開発に資する。
	分子腫瘍学 教 授 田中 耕三	がんや神経疾患など加齢にともなう疾患の背景には、染色体不安定性すなわち染色体が安定に維持されない状態が存在する。そこで、染色体不安定性が起こるしくみおよびこれがどのようにして疾患の病態を形作るかを解明し、疾患の予防や治療につなげる。培養細胞およびマウスを用いて、ライブセルイメージング、生化学的解析、ゲノム・エピゲノム解析などの手法を駆使することにより、分子レベルから個体レベルまで一貫した理解を目指す。
	遺伝子導入 教 授 高井 俊行	同じ感染症に二度罹らない免疫は、感染症への記憶という性質が支えている。アレルギーや自己免疫、がんなどの不都合な記憶も私たちは維持している。免疫記憶の維持の制御機構を解明し、自己免疫疾患やアレルギー、がんなどの不都合な免疫記憶を消去する技術開発への道を拓く。

② 生態発生適応科学専攻

*印の教員は、平成32年3月退職予定です。

**印の教員は、平成33年3月退職予定です。

***印の教員は、平成34年3月退職予定です。

講 座	分野及び教員	研 究 内 容
個体 ダイナミクス	植物発生 教 授 経塚 淳子 助 教 檜本 悟史	成長プログラムを柔軟に切り替えながら、生涯にわたり形作りを続けるという、植物独自の成長様式のしくみとその進化の理解をめざす。イネ、シロイヌナズナ、ゼニゴケなどのモデル植物だけではなく、さまざまな植物も研究対象とする。
	組織形成 教 授 倉永英里奈 助 教 梅津 大輝 (兼)助教 中嶋悠一朗	in vivo イメージングとショウジョウバエ遺伝学を用いて、(1)組織形成における集団細胞移動の作動原理、(2)組織再編成を制御する細胞間相互作用を探索する。
	環境応答 教 授 高橋 秀幸* 准教授 藤井 伸治 助 教 小林 啓恵 (兼)助教 児島 征司	植物が水や重力などの外部環境に応答して成長や形態を制御する機構について、生理学的および分子遺伝学的に解析し、植物の環境適応に必要な遺伝子・タンパク質機能と植物ホルモン作用を理解する。
	動物発生 教 授 田村 宏治 助 教 阿部 玄武 (兼)助教 齋藤 大介	脊椎動物の四肢／鰭の発生ならびに再生過程をモデル系として、形態形成・形態再生メカニズムを明らかにする。さらに、脊椎動物形態の多様性創出メカニズムの理解を目的に、比較発生学的解析を行う。
生態 ダイナミクス	水圏生態 教 授 占部城太郎 助 教 牧野 渡	湖沼・河川・沿岸生態系を主な対象に、地域や地球環境変動に対する生物種やその種間相互作用の応答を理論・実験・野外調査により解析するとともに、遺伝子から生態系へ至る生態過程を通じた生物群集の構造決定機構と機能を解明する。
	機能生態 教 授 彦坂 幸毅 助 教 小口 理一	植物の生態を、光合成・資源利用獲得と利用・ストレス耐性といった機能の解析を通して解明する。環境応答、適応進化、共存と競争など様々なテーマを分子レベルから生態系レベルまで扱う。近年の主なテーマは、①種内変異を利用した環境適応機構の解明と植物の改良、②人工衛星などのリモートセンシングによる植物機能モニタリング手法の開発と利用、③植物生産機能のモデル化、④高層湿原や森林を対象とした野外生態学。
	進化生物 教 授 河田 雅圭 准教授 牧野 能士 助 教 丸山真一郎	生物の多様性がなぜ進化してきたのかを、分子生物学的手法、集団遺伝学的解析、生態学的視点によって分子レベルから生物集団、群集レベルでの解析をもとに解明する。

生態 ダイナミクス	統合生態 教 授 近藤 倫生 准教授 酒井 聡樹 助 教 饗庭 正寛	生態系は、多様な生物が互いに関わりつつ駆動する巨大な複雑系である。数理・統計モデルを武器に、様々な生態学的現象の本質を捉え、その背後に隠された共通原理の理論的解明を目指すとともに、生態系の予測・制御・設計を可能にする新しい研究分野を開拓する。(近藤) 植物の進化生態学的研究を行う。植物の多様な性質が進化した要因を、「自然淘汰において有利だから」という視点から探る。そして、植物の適応戦略の進化の解明を試みる。とくに注目するのが植物の繁殖戦略の進化である。花の各器官への資源投資戦略・訪花昆虫の誘引戦略・種子生産戦略の解明を試みている。(酒井)
多様性 ダイナミクス	植物進化多様性 教 授 牧 雅之 助 教 米倉 浩司 助 教 大山 幹成	植物における多様性の創出メカニズムを明らかにすることを目的に、分子系統学、集団遺伝学、系統分類学、古植物学などの観点から、解析を行う。また、絶滅の危惧にある野生植物の保全についても、さまざまなアプローチからの研究を行う。
	生物多様性保全 教 授 千葉 聡	生物の多様性の維持機構と進化過程を、生態学的、遺伝学的な視点から解析するとともに、その知見を基礎として、生物多様性の保全・管理のための研究を行い、関連技術の確立を目指す。
	海洋生物多様性 教 授 熊野 岳 (兼)教授 占部城太郎 准教授 美濃川拓哉 助 教 中本 章貴 助 教 武田 哲**	浅虫周辺に生息する多様な海産動物を研究対象として、初期発生、形態形成、細胞分化等のさまざまな個体発生現象のメカニズムを研究する。また、様々な動物の発生メカニズムの比較から、動物の多様性の起源と進化について研究する。さらに、ベントスやプランクトンなどの海洋生物を対象に、その行動や生態について個体・個体群・群集レベルでの研究や、進化・系統分類に関する研究を行う。
生態複合 ダイナミクス	生態系機能 客員教授 中静 透	生態系を構成する生物の組成や動態を通じて、生態系の機能や生態系サービスに関する分析・評価を行うと同時に、地球環境変化などに対する生態系の反応メカニズムや将来予測を研究する。
(協力分野)	生命情報システム科学 教 授 木下 賢吾	次世代シーケンサを始めとして、実験データは年々増加の一途をたどっている。 データは正しい形で解析され情報にされて初めて生命科学の解明に資するものである。 本研究室では、情報科学の中でも機械学習や統計解析などデータ科学的手法を駆使することで、ゲノム・オミックスを始めとする膨大な生命科学関連データの解析を行うデータ駆除型生命情報科学に関する研究を行う。

③ 分子化学生物学専攻

*印の教員は、平成32年3月退職予定です。

**印の教員は、平成33年3月退職予定です。

***印の教員は、平成34年3月退職予定です。

講 座	分野及び教員	研 究 内 容
ケミカル バイオロジー	分子情報化学 教 授 有本 博一 助 教 一刀かおり	有機合成化学を用いた生物活性有機化合物や創薬シーズの創出、ならびに、これらをプローブとしたケミカルバイオロジー研究を行う。特に、オートファジーと一酸化窒素シグナルの関係解明を目指す。
	生命構造化学 教 授 佐々木 誠 (兼)教授 有本 博一	複雑な構造と強力な生物活性をもつ海洋生物由来の天然有機化合物の効率的な全合成を行う。さらに新規な生物機能分子の創製とケミカルバイオロジー研究への応用を目指す。
	分子細胞生物 教 授 大橋 一正 准教授 安元 研一 助 教 山下 和成	細胞が外環境を感知して応答する現象を研究対象とする。ヒトやマウスの細胞が外環境の堅さや力の負荷といった機械的な刺激を感知して細胞の形や運動、増殖・分化、細胞集団の秩序化を制御する分子機構の解明を目指す。また、細胞のストレス応答の分子機構を解明する。
	応用生命分子解析 教 授 田中 良和 准教授 小川 智久 助 教 松井 崇	あらゆる生命現象の発現に関わるタンパク質、特に疾患に関連するタンパク質に焦点を当て、その分子メカニズムを構造学的側面から解明する。また、その分子特性を新規な高次機能素材のデザインへと応用することを目指す。
分子 ネットワーク	微生物遺伝 教 授 津田 雅孝* 准教授 大坪 嘉行	環境汚染物質も含む種々の難分解性化合物分解能をもつ環境微生物の遺伝情報が示す細胞内での再編成や種を越えた水平伝播、そして環境変動に伴う遺伝情報の調和的発現制御ネットワークについて、分子遺伝学、分子生物学、ゲノム科学、そして分子生態学的手法を用いて、解明する。
	微生物共生 教 授 南澤 究* 准教授 三井 久幸 助 教 菅原 雅之	地圏生態系における根粒菌やエンドファイトなどの植物関連微生物の多様性とその意義を微生物生態学、分子生物学、ゲノム科学的手法で解明するとともに、植物と微生物の相互作用の分子基盤を明らかにし、地球環境の恒常性の理解に資する研究を行う。
	植物分子育種 教 授 渡辺 正夫 准教授 菅野 明	ゲノム解析の高速化・ゲノム編集技術の発達により、植物の分子育種が可能になりつつある。それらを踏まえて、植物ゲノムに刻まれた形態形成・生殖過程を統御する鍵遺伝子・因子の機能原理を領域横断的に解明する。それらの研究に基づく鍵遺伝子・因子の分子改変を通じて、植物における形態形成・生殖過程の鍵遺伝子・因子間ネットワークの包括的理解を目指す。
	分子遺伝生理 教 授 東谷 篤志 准教授 日出間 純 准教授 佐藤 修正 助 教 寺西 美佳 (兼)助教 大学 保一 (兼)助教 泉 正範	個々の遺伝子の発現制御からゲノム DNA の次世代への継承機構、外部環境要因の変化に伴う応答など、生物の生存戦略を分子レベルで解き明かすとともに、様々なストレス耐性の獲得に資する教育研究を行う。

階層的構造 ダイナミクス	生体分子ダイナミクス 教授 高橋 聡 助教 鎌形 清人 助教 小井川浩之	タンパク質は、特定の構造に折り畳まれる（フォールディングする）ことで機能を発揮する。本研究分野では、独自に開発した一分子蛍光観察法を用いることで、タンパク質のフォールディング過程や、癌抑制タンパク質である p53 がターゲット配列を探す過程を解明し、タンパク質の構造と機能を理解することを目指している。さらに、新規タンパク質をデザインする手法の開発にも取り組んでいる。
	生体分子機能制御 教授 水上 進 准教授 松井 敏高 助教 小和田俊行	有機化学・生体高分子化学・ナノ科学に基づいて、蛍光プローブをはじめとする機能性分子を設計・合成し、生体および生細胞内で起きている現象の可視化技術、人為的な細胞機能制御技術を開発する。開発した技術をもとに、生命現象や疾患の機構解明ならびに新たな治療法の開発を目指す。
	生体分子構造 教授 稲葉 謙次 准教授 門倉 広 助教 渡部 聡	細胞内で合成されるタンパク質の立体構造形成促進および構造異常タンパク質の分解除去を担うタンパク質品質管理システムの作用機序について、構造生物学、生化学、細胞生物学、プロテオミクスなどの多角的アプローチにより解明する。さらに、細胞内で重要な生理機能を担うカルシウムや亜鉛などの金属イオンの恒常性維持機構についても X 線結晶構造解析を中心とした構造生化学的研究を展開する。
ゲノム情報学	オミックス・情報学 客員教授 柴田 大輔 客員教授 長瀬 隆弘 客員准教授 平川 英樹	各種生物について全ゲノム配列や転写、代謝産物をはじめとするゲノム情報を取得し、ゲノムの構造と機能を明らかにすることによって、生物の特徴を包括的に調べる。また、これらのデータを活用し、ゲノム情報の解析技術とポストゲノム解析技術の開発を目指す。
微生物進化 機能開発 寄附講座	微生物進化機能開発 教授 永田 裕二 講師 矢野 大和 助教 加藤 広海 助教 佐藤優花里	細菌の非生体物質代謝能を酵素・細胞・複合微生物系の各レベルで解析し、環境細菌の環境適応・進化機構を包括的に理解すると共に、細菌機能の実環境での高度利用、および細菌の未開拓潜在機能開発手法の確立を目指す。
(協力分野)	天然物ケミカルバイオロジー 教授 上田 実	ユニークな活性を持つ天然有機化合物をベースにして生命現象を解明・制御する天然物ケミカルバイオロジーに関する研究を行う。有機合成化学のみならず、創薬化学をベースとした生物活性リガンドの活性チューニングや分子生物学などを駆使して、生物時計によって制御されるマメ科植物の就眠運動や植物－微生物間相互作用などの複雑な生物現象を対象とした研究を行う。
	分子反応化学 教授 土井 隆行	生物活性を有する天然有機化合物の効率良い合成法を開発する。構造活性相関、標的分子を明らかにするために迅速な類縁体の合成を行う。活性発現に必要な構造情報、およびその機構を明らかにし、医薬品のリード化合物創製を目指す。

(協力分野)	レドックス制御 教授 本橋ほづみ	酸化還元反応は、生命が用いるエネルギー獲得の基本的な反応であるが、同時に、細胞内のシグナル伝達においても重要な役割を果たしている。マウス個体を用いた実験を中心に、生化学的手法・細胞生物学的手法・オミックス解析手法を用いて、生体のレドックス制御機構の解明とその破綻による老化・加齢関連疾患の理解を通して、健康長寿の実現に資する研究を目指す。
	細胞機能 教授 中山 啓子	細胞の分化や増殖・老化の分子機構を生化学や細胞生物学的、発生工学的な手法を使って明らかにする。そして、それらが破綻して引き起こされ则认为られている悪性腫瘍や神経変性疾患などの発症メカニズムの理解を目指す。

備 考

本研究科のキャンパスは、仙台市内、青森県青森市、京都府京都市及び千葉県木更津市に分散しています。

特に生態発生適応科学専攻の多様性ダイナミクス講座海洋生物多様性分野は、本研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター（青森県青森市）に、生態複合ダイナミクス講座生態系機能分野は、総合地球環境学研究所（京都府京都市）に、また、分子化学生物学専攻のゲノム情報学講座オミックス・情報学分野は、かずさDNA 研究所（千葉県木更津市）に、それぞれ常駐して、当該分野の研究指導を受けることになります。

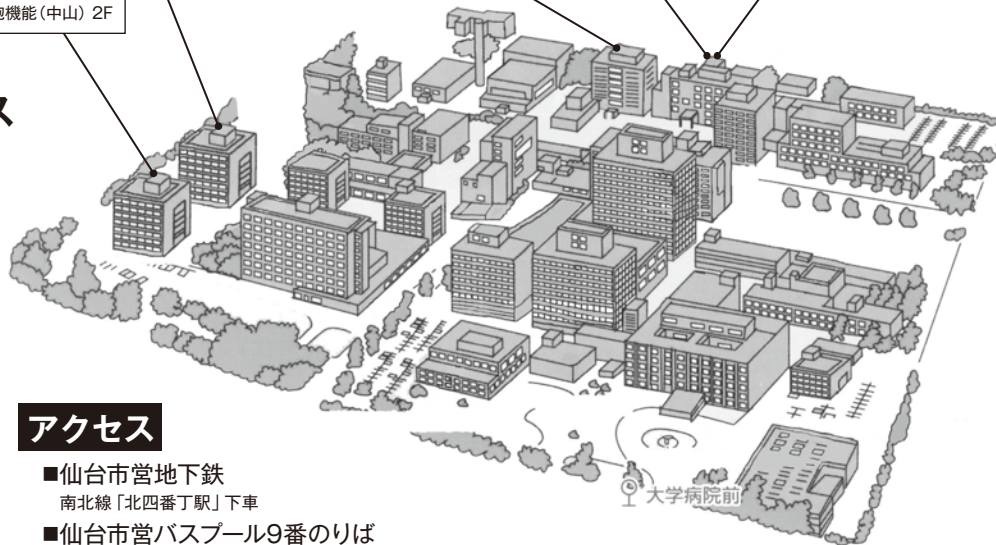
キャンパスマップ

campus map



④ 星陵キャンパス

〔所在地: 青葉区星陵町〕



アクセス

- 仙台市営地下鉄
南北線「北四番丁駅」下車
- 仙台市営バスプール9番のりば
「子平町→北山循環」に乗り、「東北大学病院前」下車

- 生命科学プロジェクト
総合研究棟
- 生命構造化学(兼)有本) 3F
 - 分子情報化学(有本) 3F
 - 活性分子動態(山口) 1F
 - 応用生命分子解析(田中(良)) 3F
 - 発生ダイナミクス(杉本) 2F
 - 脳機能遺伝(兼)東谷) 4F
 - 超回路脳機能(松井) 3F
 - 脳神経システム(筒井) 5F
 - 神経行動(谷本) 2F
 - 環境応答(高橋(秀)) 2F
 - 生命科学研究科事務部 1F

- 多元物質科学研究所
東1号館
- 生体分子ダイナミクス(高橋(聡)) 2F

- 電気通信研究所
2号館
- 脳機能発達(安部) 1F

① 片平キャンパス

〔所在地: 青葉区片平〕

アクセス

- 仙台市営地下鉄
東西線「青葉通一番町駅」下車 南1口より徒歩約10分
- タクシー利用の場合
JR仙台駅西口タクシープールから乗車する。所要時間5～6分

- 生命科学研究科本館
- 微生物遺伝(津田) 2F
 - 植物分子育種(渡辺) 3F
 - 微生物共生(南澤) 1F
 - 分子遺伝生理(東谷) 2F
 - 植物発生(経塚) 3F
 - 微生物進化機能開発(永田) 3F

- 多元物質科学研究所南総合研究棟
1号館
- 生体分子機能制御(水上) 5F
 - 生体分子構造(稲葉) 5F

- 薬学研究科B棟
- 分子反応化学(土井) 4F

- 理学部化学系研究棟
- 分子細胞生物(大橋) 4F

- 理学部生物学系研究棟
- 組織形成(倉永) 2F
 - 細胞小器官疾患学(田口) 3F
 - 植物細胞壁(西谷) 6F
 - 動物発生(田村) 5F
 - 生物多様性保全(千葉(聡)) 5F
 - 進化生物(河田) 4F
 - 水圏生態(占部) 3F

- 理学研究科合同A棟
- 膜輸送機構解析(福田) 9F
 - 統合生態(近藤) 10F
 - 機能生態(彦坂) 10F

- 理学研究科合同C棟
- 天然物ケミカルバイオロジー(上田) 7F

- 電子情報システム・応物系3号館
- 生命情報システム科学(木下) 5F

地下鉄東西線
「青葉山駅」●

③ 青葉山キャンパス

〔所在地: 青葉区荒巻字青葉〕

アクセス

- 仙台市営地下鉄
東西線「青葉山駅」下車

- 東北アジア研究センター
- 生物多様性保全(千葉(聡)) 3F

地下鉄東西線
「青葉山駅」●

地下鉄東西線
「川内駅」●

② 川内キャンパス

〔所在地: 青葉区川内〕

アクセス

- 仙台市営地下鉄
東西線「川内駅」下車

植物園

- 植物園
- 植物進化多様性(牧)

※海洋生物多様性分野は青森県青森市浅虫の本研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センターに、生態系機能分野は京都府京都市の総合地球環境学研究所に、オミックス・情報学分野は千葉県木更津市のかずさDNA研究所にあります。

受験 番号	
----------	--

貴大学院生命科学研究科博士課程前期2年の課程に入学したいので、所定の書類等を添えて出願します。

専攻名等	第1志望	専攻(分野名:	教員名:	)	☐ コンタ外済
	第2志望*	専攻(分野名:	教員名:	)	☐ コンタ外済
	第3志望*	専攻(分野名:	教員名:	)	☐ コンタ外済
フリガナ		性別	生 年 月 日		本籍地(都道府県名)
氏 名		☐ 男 ☐ 女	昭和・平成 年 月 日		
ローマ字			(西暦 年)		
出願資格	出願する「選抜の種類」にマーク ☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 ☐ 帰国学生特別選抜 ☐ 外国人留学生特別選抜 上でマークした「選抜の種類」の該当する「出願資格」にマーク ☐ (1) ☐ (2) ☐ (3) ☐ (4) ☐ (5) ☐ (6) ☐ (7) ☐ (8) ☐ (9) ☐ (10) ☐ (11)				
経 歴	平成 年 月 立	高等学校(所在都道府県名) 卒業			
	平成 年 月 立	大学	学部	学科入学	
	平成 年 月 立	大学	学部	学科卒業(卒業見込)	
	平成 年 月				
	平成 年 月				
	平成 年 月				
	平成 年 月				
	平成 年 月				
	平成 年 月				
	平成 年 月				
	入学後の予定(在職者のみ記入) ☐ 在職 ☐ 休職 ☐ 退職 ☐ その他()				
志願者の 現 住 所	〒 Tel — — 携帯・PHS — — E-mail				
志願者の 帰 省 先 住 所	〒 Tel — — 携帯・PHS — — E-mail				
TOEFL・ TOEIC スコア	該当するものにマーク ☐ 出願時に提出する(TOEIC) ☐ 試験日に提出する(TOEIC) ☐ DIコードにより、依頼をした(TOEFL) ☐ 提出しない(TOEFL・TOEIC) ※外国人留学生特別選抜受験者で英語を母国語としない者は、必ず提出してください。				

●東北大学在学中の学生は、学籍番号を記入してください。【 】
*希望する場合は記入してください。

- ◎ 募集要項を熟読し、受験番号欄を除き、黒のインク(ボールペン可)で明瞭に記入し、□には、該当する事項にマークをしてください。
- ◎ 専攻名のほかに、分野名を記入してください。
- ◎ 氏名、生年月日、本籍地は、必ず戸籍の原本により確認の上、記入してください。
- ◎ ローマ字氏名は、必ず記入してください。ただし、外国籍の志願者は、英字氏名をFamily name, First name Middle nameの順に記入してください。
- ◎ 外国籍の志願者は、裏面の履歴書も記入してください。

願書等受領印	検定料領収印
※安全保障輸出管理(外国人志願者) ☐ 承認済み(承認日: 月 日) ☐ 手続不要 ☐ その他 (確認事務担当者氏名:)	

受験番号

(Marital Status)

☐ Single

☐ Married

☆ Name in full, in native language

(Family name)

(First name)

(Middle name)

☆ Present Status; with the name of the university attended, or of employer

☆ Present address and telephone number

☆ Permanent address

☆ Educational background

	Name and address of school	Officially required number of years of schooling	Year and month of entrance and completion	Period of schooling	Diploma or degree awarded, major subject
Elementary school		yrs	from to	yrs	
Lower secondary school		yrs	from to	yrs	
Upper secondary school		yrs	from to	yrs	
Undergraduate level		yrs	from to	yrs	
Graduate level		yrs	from to	yrs	
Research work		yrs	from to	yrs	

☆ Employment record; Begin with the most recent employment.

Name and address of organization	Period of employment	Position	Type of work

* In case the blank spaces above are not sufficient for information required, please attach an additional sheet.

第 I 期 志望理由書

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small squares formed by thin green lines. There are 20 columns and 20 rows of squares, creating a total area of 400 small squares. The grid covers most of the page, leaving a narrow white margin around the edges. The lines are evenly spaced and extend across the entire grid area.

平成31年度東北大学大学院生命科学研究科博士課程前期 2 年の課程入学試験

第 I 期 写 真 票										
受 験 番 号										
専 攻	(第 1 志望) 専攻	(第 2 志望・希望する場合) 専攻	(第 3 志望・希望する場合) 専攻	のりつけ 写 真 出願以前 3 か月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のもので、縦 4 cm、横 3 cm の大きさとし、裏面に氏名を記入してください。						
分 野										
ふりがな										性 別
氏 名										☐ 男 ☐ 女
生 年 月 日	昭和 平成	(西暦)	年	月	日	(歳)				

切り離さないでください

平成31年度東北大学大学院生命科学研究科博士課程前期 2 年の課程入学試験

第 I 期 受 験 票									
受 験 番 号									
専 攻	(第 1 志望) 専攻	(第 2 志望・希望する場合) 専攻	(第 3 志望・希望する場合) 専攻						
分 野									
ふりがな									
氏 名									
性 別	☐ 男 ☐ 女	生 年 月 日	昭和 平成	(西暦)	年	月	日		

注) 受験票は、受験時に持参してください。

切り離さないでください

- 〈 注 意 事 項 〉
- ◎募集要項を熟読し、受験番号欄を除き、黒のインク（ボールペン可）で明瞭に記入し、□には、該当する事項にマークをしてください。

◎専攻名のほかに、分野名を記入してください。

◎写真票，受験票，検定料領収書等（領収書，領収書（控））は，各々切り離さないで提出してください。

◎検定料領収書等（領収書，領収書（控））には，氏名のみを記入してください。

切り離さないでください

領 収 書					平成 30 年度	No.						
氏 名	殿											
納 付 金 額					千	百	十	万	千	百	十	円
							¥	3	0	0	0	0
但し，平成31年度入学 検定料 ・大学院学生									領 収 印			
上記金額を領収しました。												

様式 3

切り離さないでください

領 収 書（控）					平成 30 年度	No.						
氏 名	殿											
納 付 金 額					千	百	十	万	千	百	十	円
							¥	3	0	0	0	0
但し，平成31年度入学 検定料 ・大学院学生									領 収 印			
上記金額を領収しました。												

様式 3

切り離さないでください

連絡受信先シール

- ※印欄は記入しないでください。
- このシールは、「合格通知書」及び「入学手続き類」等を送付する場合のあて名として使用しますので、8箇所すべてに楷書で丁寧に記入してください。
(このシールは台紙にのり付けされたままの状態で提出してください。)
- 郵便を受け取ることができる住所(住居)・氏名を丁寧に記入してください(日本国内に限ります。)。なお、アパート等に居住している方は、棟番号、戸番号まで、また、下宿をしている方は「〇〇様方」と詳しく記入してください。
- 「殿」は直さず、そのままにしておいてください。
- 出願後、記入した住所を変更した場合は、すみやかに生命科学研究科教務係へ届け出てください。

受験番号		※
第1志望	専攻名	専攻
	分野名	分野
氏名		

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

受験 番号	
----------	--

貴大学院生命科学研究科博士課程前期 2 年の課程に入学したいので、所定の書類等を添えて出願します。

専攻名	第 1 志望	専攻（分野名：	教員名：	） ☐ コンタ外済
	第 2 志望*	専攻（分野名：	教員名：	） ☐ コンタ外済
	第 3 志望*	専攻（分野名：	教員名：	） ☐ コンタ外済
フリガナ		性別	生 年 月 日	本籍地（都道府県名）
氏 名		☐ 男 ☐ 女	昭和・平成 年 月 日 (西暦 年)	
ローマ字				
出願資格	出願する「選抜の種類」にマーク ☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 ☐ 帰国学生特別選抜 ☐ 外国人留学生特別選抜 上でマークした「選抜の種類」の該当する「出願資格」にマーク ☐ (1) ☐ (2) ☐ (3) ☐ (4) ☐ (5) ☐ (6) ☐ (7) ☐ (8) ☐ (9) ☐ (10) ☐ (11)			
経 歴 1 研究生等を含む。 2 最終学校卒業後に研究歴がある場合は、この欄に記入。 3 大学以外の機関から授与された学位がある場合には、この欄に記入。	平成 年 月 立	高等学校（所在都道府県名）卒業		
	平成 年 月 立	大学	学部	学科入学
	平成 年 月 立	大学	学部	学科卒業（卒業見込）
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
入学後の予定（在職者のみ記入） ☐ 在職 ☐ 休職 ☐ 退職 ☐ その他（	）			
志願者の 現 住 所	〒 Tel — — 携帯・PHS — — E-mail			
志願者の 帰 省 先 住 所	〒 Tel — — 携帯・PHS — — E-mail			
TOEFL・ TOEIC スコア	該当するものにマーク ☐ 出願時に提出する (TOEIC) ☐ 試験日に提出する (TOEIC) ☐ DIコードにより、依頼をした (TOEFL) ☐ 提出しない (TOEFL・TOEIC) ※外国人留学生特別選抜受験者で英語を母国語としない者は、必ず提出してください。			

●東北大学在学中の学生は、学籍番号を記入してください。【 】

*希望する場合は記入してください。

- ◎ 募集要項を熟読し、受験番号欄を除き、黒のインク（ボールペン可）で明瞭に記入し、□には、該当する事項にマークをしてください。
- ◎ 専攻名のほかに、1 頁の分野名を記入してください。
- ◎ 氏名、生年月日、本籍地は、必ず戸籍の原本により確認の上、記入してください。
- ◎ ローマ字氏名は、必ず記入してください。ただし、外国籍の志願者は、英字氏名をFamily name, First name Middle nameの順に記入してください。
- ◎ 外国籍の志願者は、裏面の履歴書も記入してください。

願書等受領印	検定料領収印
※安全保障輸出管理（外国人志願者） ☐ 承認済み（承認日： 月 日） ☐ 手続不要 ☐ その他 （確認事務担当者氏名： ）	

受験番号	
------	--

☆ Name in full, in native language (Marital Status)
☐ Single ☐ Married

_____, _____
(Family name) (First name) (Middle name)

☆ Present Status; with the name of the university attended, or of employer

☆ Present address and telephone number

☆ Permanent address

☆ Educational background

	Name and address of school	Officially required number of years of schooling	Year and month of entrance and completion	Period of schooling	Diploma or degree awarded, major subject
Elementary school		yrs	from to	yrs	
Lower secondary school		yrs	from to	yrs	
Upper secondary school		yrs	from to	yrs	
Undergraduate level		yrs	from to	yrs	
Graduate level		yrs	from to	yrs	
Research work		yrs	from to	yrs	

☆ Employment record; Begin with the most recent employment.

Name and address of organization	Period of employment	Position	Type of work

* In case the blank spaces above are not sufficient for information required, please attach an additional sheet.

受験番号

第1志望

第2志望(希望する場合)

第3 志望(希望する場合)

専攻

専攻

専攻

氏名

分野

分野

分野

[illegible]

平成31年度東北大学大学院生命科学研究科博士課程前期 2 年の課程入学試験

第Ⅱ期 写 真 票										
受 験 番 号										
専 攻	(第 1 志望) 専攻	(第 2 志望・希望する場合) 専攻	(第 3 志望・希望する場合) 専攻	のりつけ 写 真 出願以前 3 か月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のもので、縦 4 cm、横 3 cm の大きさとし、裏面に氏名を記入してください。						
分 野										
ふりがな										性 別
氏 名										☐ 男 ☐ 女
生 年 月 日	昭和 平成	(西暦)	年	月	日	(歳)				

切り離さないでください

平成31年度東北大学大学院生命科学研究科博士課程前期 2 年の課程入学試験

第Ⅱ期 受 験 票									
受 験 番 号									
専 攻	(第 1 志望) 専攻	(第 2 志望・希望する場合) 専攻	(第 3 志望・希望する場合) 専攻						
分 野									
ふりがな									
氏 名									
性 別	☐ 男 ☐ 女	生 年 月 日	昭和 平成	(西暦)	年	月	日		

注) 受験票は、受験時に持参してください。

切り離さないでください

- 〈 注 意 事 項 〉
- ◎募集要項を熟読し、受験番号欄を除き、黒のインク（ボールペン可）で明瞭に記入し、□には、該当する事項にマークをしてください。

◎専攻名のほかに、分野名を記入してください。

◎写真票，受験票，検定料領収書等（領収書，領収書（控））は，各々切り離さないで提出してください。

◎検定料領収書等（領収書，領収書（控））には，氏名のみを記入してください。

切り離さないでください

領 収 書					平成 30 年度		No.					
氏 名	殿											
納 付 金 額					千	百	十	万	千	百	十	円
							¥	3	0	0	0	0
但し，平成31年度入学 検定料 ・大学院学生									領 収 印			
上記金額を領収しました。												

様式 3

切り離さないでください

領 収 書（控）					平成 30 年度		No.					
氏 名	殿											
納 付 金 額					千	百	十	万	千	百	十	円
							¥	3	0	0	0	0
但し，平成31年度入学 検定料 ・大学院学生									領 収 印			
上記金額を領収しました。												

様式 3

切り離さないでください

連絡受信先シール

- ※印欄は記入しないでください。
- このシールは、「合格通知書」及び「入学手続き類」等を送付する場合のあて名として使用しますので、8箇所すべてに楷書で丁寧に記入してください。
(このシールは台紙にのり付けされたままの状態で提出してください。)
- 郵便を受け取ることができる住所(住居)・氏名を丁寧に記入してください(日本国内に限ります。)。なお、アパート等に居住している方は、棟番号、戸番号まで、また、下宿をしている方は「〇〇様方」と詳しく記入してください。
- 「殿」は直さず、そのままにしておいてください。
- 出願後、記入した住所を変更した場合は、すみやかに生命科学研究科教務係へ届け出てください。

受験番号		※
第1志望	専攻名	専攻
	分野名	分野
氏名		

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

□□□—□□□□	
(住所)	
	様方
(氏名)	殿
【※】	】

東日本大震災により被災した東北大学入学志願者等の 平成30年度における入学検定料の免除について

東日本大震災により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

東北大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、引き続き、平成30年度に実施する学部及び大学院入試等において、次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

1. 免除対象となる入学試験等

平成30年度に出願する本学の学部又は大学院の研究科の入学試験（編入学，転入学，再入学含む）

2. 対象者

免除対象となる入学試験の志願者で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当する方

（1）本人または学資負担者が、次の災害救助法適用地域において被災し、家屋等の全壊、大規模半壊、半壊、流失のり災証明が得られる方（一部損壊は該当しません。）

岩手県、宮城県、福島県の全市区町村

青森県、茨城県、栃木県、千葉県の実地災害救助法適用市区町村

（2）学資負担者が震災により死亡または行方不明の方

（3）本人または学資負担者の居住地が福島第一原発事故による避難区域に指定された方（避難区域対象：警戒区域，計画的避難区域，緊急時避難準備区域）

3. 申請の方法

上記に該当する方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

申請に当たり問い合わせる場合は、下記問い合わせ先に電話連絡してください。

4. 申請書類

- （1）「入学検定料免除申請書」（本学ウェブサイトからダウンロード）
- （2）「り災証明書等（写し可）」（上記2の（1）に該当する方）
- （3）「死亡を証明する書類（写し可）」（上記2の（2）に該当する方）
- （4）「被災証明書（写し可）」（上記2の（3）に該当する方）

5. 許可または不許可の通知について

- （1）許可者には、受験票の送付をもって、許可の通知に代えることとします。
- （2）不許可者には、別途連絡しますので、直ちに入学検定料を指定の方法で払い込んでください。納入等が確認された後、受験票を送付します。

入学検定料の免除に関する問合せ先

【学部入試】教育・学生支援部入試課（022-795-4800）

【大学院入試】

・文学研究科（795-6004）	・工学研究科（795-5820）
・教育学研究科（795-6105）	・農学研究科（757-4007）
・法学研究科（795-6175）	・国際文化研究科（795-7556）
・経済学研究科（795-6265）	・情報科学研究科（795-5814）
・理学研究科（795-6351）	・生命科学研究科（217-5706）
・医学系研究科（717-8010）	・環境科学研究科（752-2235）
・歯学研究科（717-8248）	・医工学研究科（795-4824）
・薬学研究科（795-6803）	

【学部編入学】

・文学部（795-6004）	・理学部（795-6350）
・経済学部（795-6265）	・工学部（795-3188）

大学使用欄	
受験記号番号	

入 学 検 定 料 免 除 申 請 書

平成 年 月 日

東北大学総長 殿

入学時期 平成 年 月入学

選抜の種類

志願学部・研究科専攻名（医学部志願者は学科・専攻名まで）

学部 学科 専攻
研究科 専攻

志願者氏名

住所 〒

連絡先 TEL

入学後の学資負担者氏名

住所 〒 (続柄)

連絡先 TEL

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、下記のとおり被災しましたので、り災証明書等を添付のうえ、入学検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

- ☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 流失
☐ 学資負担者死亡または行方不明
☐ 福島第一原発事故による避難区域（警戒区域・計画的避難区域・緊急時避難準備区域）

*り災証明書の申請者氏名が学資負担者以外の場合は、志願者との関係を下記に記入してください。

り災証明書の申請者氏名： (続柄)

平成28年熊本地震により被災した東北大学入学志願者等の 平成30年度における入学検定料の免除について

平成28年熊本地震により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

東北大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、引き続き、平成30年度に実施する学部及び大学院入試等において、次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

1 免除対象となる入学試験等

平成30年度に出願する本学の学部又は大学院の研究科の入学試験（編入学、転入学及び再入学を含む。）

2 対象者

免除対象となる入学試験の志願者で、平成28年熊本地震により被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 主たる学資負担者が下記の災害救助法適用地域において被災し、自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した方（一部損壊は該当しません。）
- (2) 主たる学資負担者が地震により死亡又は行方不明の方

【災害救助法適用地域】

熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、下益城郡美里町、玉名郡玉東町・南関町・長州町・和水町、菊池郡大津町・菊陽町、阿蘇郡南小国町・小国町・産山村・高森町・西原村・南阿蘇村、上益城郡御船町・嘉島町・益城町・甲佐町・山都町、八代郡氷川町、葦北郡芦北町・津奈木町、球磨郡錦町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村・あさぎり町、天草郡苓北町

※ なお、上記災害救助法適用地域以外で被災した志願者で、上記(1)・(2)のいずれかに該当する方については、教育・学生支援部入試課へお問い合わせください。

3 申請の方法

上記に該当する方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

申請に当たり問い合わせる場合は、下記問い合わせ先に電話連絡してください。

4 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」（本学ウェブサイトからダウンロード）
- (2) 「り災証明書等（写し可）」（上記2の(1)に該当する方）
- (3) 「死亡を証明する書類（写し可）」（上記2の(2)に該当する方）

5 許可又は不許可の通知

(1) 許可者には、受験票の送付をもって、許可の通知に代えることとします。

(2) 不許可者には、別途連絡しますので、直ちに入学検定料を指定の方法で払い込んでください。納入等が確認された後、受験票を送付します。

入学検定料の免除に関する問い合わせ先

【学部入試】教育・学生支援部入試課（０２２－７９５－４８００）

【大学院入試】

- | | | | |
|---------|------------|----------|------------|
| ・文学研究科 | （７９５－６００４） | ・工学研究科 | （７９５－５８２０） |
| ・教育学研究科 | （７９５－６１０５） | ・農学研究科 | （７５７－４００７） |
| ・法学研究科 | （７９５－６１７５） | ・国際文化研究科 | （７９５－７５５６） |
| ・経済学研究科 | （７９５－６２６５） | ・情報科学研究科 | （７９５－５８１４） |
| ・理学研究科 | （７９５－６３５１） | ・生命科学研究科 | （２１７－５７０６） |
| ・医学系研究科 | （７１７－８０１０） | ・環境科学研究科 | （７５２－２２３５） |
| ・歯学研究科 | （７１７－８２４８） | ・医工学研究科 | （７９５－４８２４） |
| ・薬学研究科 | （７９５－６８０３） | | |

【学部編入学】

- | | | | |
|-------|------------|------|------------|
| ・文学部 | （７９５－６００４） | ・理学部 | （７９５－６３５０） |
| ・経済学部 | （７９５－６２６５） | ・工学部 | （７９５－３１８８） |

大学使用欄	
受験記号番号	

入 学 検 定 料 免 除 申 請 書

平成 年 月 日

東北大学総長 殿

入学時期 平成 年 月入学

選抜の種類

志願学部・研究科専攻名（医学部志願者は学科・専攻名まで）

学部 学科 専攻

研究科 専攻

志願者氏名

住所 〒

連絡先 TEL

入学後の学資負担者氏名

住所 〒 (続柄)

連絡先 TEL

平成28年熊本地震において、下記のとおり被災しましたので、り災証明書等を添付の上、入学検定料の免除を申請します。

記

被災状況（該当箇所にチェックしてください。）

- ☐ 全壊 ☐ 大規模半壊 ☐ 半壊 ☐ 流失
☐ 学資負担者死亡又は行方不明

*り災証明書の申請者氏名が学資負担者以外の場合は、志願者との関係を下記に記入してください。

り災証明書の申請者氏名： (続柄)